



## 端末設定とセッションの設定

---

この章では、端末設定とセッションを構成する方法について説明します。

- [端末設定とセッションの概要, on page 1](#)
- [コンソール ポートの設定, on page 3](#)
- [仮想端末の設定 , on page 5](#)
- [モデム接続の設定 \(7 ページ\)](#)
- [ターミナル セッションのクリア, on page 11](#)
- [端末およびセッション情報の表示 \(11 ページ\)](#)
- [ファイル システム パラメータのデフォルト設定, on page 12](#)
- [端末設定とセッションの関連資料 \(12 ページ\)](#)

### 端末設定とセッションの概要

ここでは、端末設定とセッションの概要について説明します。

#### ターミナル セッションの設定

Cisco NX-OS ソフトウェア機能では、端末の次の特性を管理できます。

##### 端末タイプ

リモート ホストと通信する際に Telnet で使用される名前

##### Length

一時停止する前に表示されるコマンド出力の行数

##### 幅

行を折り返す前に表示される文字数

##### 非アクティブ セッションのタイムアウト

デバイスによって停止される前にセッションが非アクティブの状態でいられる分

## ■ コンソールポート

# コンソールポート

コンソールポートは非同期のシリアルポートで、初期設定用に、RJ-45コネクタを使用して標準RS-232ポート経由でデバイスに接続できます。このポートに接続されるデバイスには、非同期伝送の機能が必要です。コンソールポートには、次のパラメータを設定できます。

### データビット

データに使用するビット数を8ビットのバイト単位で指定します。

### 非アクティブセッションのタイムアウト

セッションが終了になるまでの非アクティブ時間を分単位で指定します。

### パリティ

エラー検出用の奇数パリティまたは偶数パリティを指定します。

### スピード

接続の送信速度を指定します。

### ストップビット

非同期回線に対するストップビットを指定します。

ターミナルエミュレータは、9600ボート、8データビット、1ストップビット、パリティなしに設定してください。

# 仮想端末

仮想端末回線を使用して、Cisco NX-OSデバイスを接続できます。セキュアシェル(SSH)およびTelnetは、仮想ターミナルセッションを作成します。仮想端末の非アクティブセッションタイムアウトおよびセッション数の上限を設定できます。

# モデムのサポート

モデムはスーパーバイザモジュールのコンソールポートに接続できます。Cisco NX-OSソフトウェアが動作するデバイス上で、次のモデムがテスト済みです。

- MultiTech MT2834BA ([http://www.multitech.com/en\\_us/support/families/multimodemii/](http://www.multitech.com/en_us/support/families/multimodemii/))
- Hayes Accura V.92 ([http://www.zoom.com/products/dial\\_up\\_external\\_serial.html#hayes](http://www.zoom.com/products/dial_up_external_serial.html#hayes))



(注)

デバイスの起動中にモデムを接続しないでください。必ずデバイスの電源がオンになってから、モデムを接続してください。

Cisco NX-OSソフトウェアには、接続されたモデムを検出するためのデフォルトの初期化ストリング(ATE0Q1&D2&C1S0=1\015)があります。このデフォルトストリングの定義は次のとおりです。

### AT

Attention

**E0 (必須)**

エコーなし

**Q1**

結果コードを有効化

**&D2**

通常のデータ端末動作可能 (DTR) オプション

**&C1**

データキャリア状態の追跡がイネーブル

**S0=1**

1回の呼び出し音の後に応答

**\015 (必須)**

8進数の復帰 (CR) コード

## コンソールポートの設定

コンソールポートに対して次の特性を設定できます。

- データビット
- 非アクティブセッションのタイムアウト
- パリティ
- スピード
- ストップビット

### **Before you begin**

コンソールポートにログインします。

### **SUMMARY STEPS**

1. **configure terminal**
2. **line console**
3. **databits bits**
4. **exec-timeout minutes**
5. **parity {even | none | odd}**
6. **speed {300 | 1200 | 2400 | 4800 | 9600 | 38400 | 57600 | 115200}**
7. **stopbits {1 | 2}**
8. **exit**
9. (Optional) **show line console**
10. (Optional) **copy running-config startup-config**

## ■ コンソール ポートの設定

### DETAILED STEPS

#### Procedure

	<b>Command or Action</b>	<b>Purpose</b>
ステップ1	<b>configure terminal</b>  <b>Example:</b> switch# configure terminal switch(config)#	グローバル構成モードを開始します。
ステップ2	<b>line console</b>  <b>Example:</b> switch# line console switch(config-console)#[/td> <td>コンソールコンフィギュレーションモードを開始します。</td>	コンソールコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ3	<b>databits bits</b>  <b>Example:</b> switch(config-console)# databits 7	1バイトあたりのデータビット数を設定します。指定できる範囲は5～8です。デフォルトは8です。
ステップ4	<b>exec-timeout minutes</b>  <b>Example:</b> switch(config-console)# exec-timeout 30	非アクティブセッションのタイムアウトを設定します。有効値は0～525600分(8760時間)です。0分の値を設定すると、セッションタイムアウトはディセーブルになります。デフォルトは30分です。
ステップ5	<b>parity {even   none   odd}</b>  <b>Example:</b> switch(config-console)# parity even	パリティを設定します。デフォルトは <b>none</b> です。
ステップ6	<b>speed {300   1200   2400   4800   9600   38400   57600   115200}</b>  <b>Example:</b> switch(config-console)# speed 115200	送信および受信速度を設定します。デフォルトは <b>9600</b> です。
ステップ7	<b>stopbits {1   2}</b>  <b>Example:</b> switch(config-console)# stopbits 2	ストップビットを設定します。デフォルトは <b>1</b> です。
ステップ8	<b>exit</b>  <b>Example:</b> switch(config-console)# exit switch(config)#[/td> <td>コンソールコンフィギュレーションモードを終了します。</td>	コンソールコンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ9	(Optional) <b>show line console</b>  <b>Example:</b> switch(config)# show line console	コンソールの設定値を表示します。

	<b>Command or Action</b>	<b>Purpose</b>
ステップ 10	(Optional) <b>copy running-config startup-config</b>  <b>Example:</b> switch(config)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

## 仮想端末の設定

ここでは、Cisco NX-OS デバイスで仮想端末を設定する方法について説明します。

### 非アクティブセッションタイムアウトの設定

Cisco NX-OS デバイスでは、仮想ターミナルの非アクティブセッションのタイムアウトを設定できます。

#### SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **line vty**
3. **exec-timeout *minutes***
4. **exit**
5. (Optional) **show running-config all | begin vty**
6. (Optional) **copy running-config startup-config**

#### DETAILED STEPS

##### Procedure

	<b>Command or Action</b>	<b>Purpose</b>
ステップ 1	<b>configure terminal</b>  <b>Example:</b> switch# configure terminal switch(config)#	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 2	<b>line vty</b>  <b>Example:</b> switch# line vty switch(config-line)#	ラインコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	<b>exec-timeout <i>minutes</i></b>  <b>Example:</b> switch(config-line)# exec-timeout 30	非アクティブセッションタイムアウトを構成します。有効値は 0 ~ 525600 分 (8760 時間) です。0 分の値を設定すると、タイムアウトはディセーブルになります。デフォルト値は 30 です。

## セッション制限の設定

	<b>Command or Action</b>	<b>Purpose</b>
ステップ 4	<b>exit</b>  <b>Example:</b> <pre>switch(config-line)# exit switch(config)#</pre>	ライン コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 5	(Optional) <b>show running-config all   begin vty</b>  <b>Example:</b> <pre>switch(config)# show running-config all   begin vty</pre>	仮想端末の設定を表示します。
ステップ 6	(Optional) <b>copy running-config startup-config</b>  <b>Example:</b> <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

## セッション制限の設定

Cisco NX-OS デバイスでは、仮想ターミナルセッションの数を制限できます。

### SUMMARY STEPS

1. **configure terminal**
2. **line vty**
3. **session-limit sessions**
4. **exit**
5. (Optional) **show running-config all | being vty**
6. (Optional) **copy running-config startup-config**

### DETAILED STEPS

#### Procedure

	<b>Command or Action</b>	<b>Purpose</b>
ステップ 1	<b>configure terminal</b>  <b>Example:</b> <pre>switch# configure terminal switch(config)</pre>	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 2	<b>line vty</b>  <b>Example:</b> <pre>switch# line vty switch(config-line)</pre>	ライン コンフィギュレーション モードを開始します。

	<b>Command or Action</b>	<b>Purpose</b>
ステップ3	<b>session-limit sessions</b>  <b>Example:</b> switch(config-line)# session-limit 10	Cisco NX-OS デバイス向けの仮想セッションの最大数を設定します。範囲は 1 ~ 64 です。デフォルトは 32 です。
ステップ4	<b>exit</b>  <b>Example:</b> switch(config-line)# exit switch(config)#	ラインコンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ5	(Optional) <b>show running-config all   being vty</b>  <b>Example:</b> switch(config)# show running-config all   begin vty	仮想端末の設定を表示します。
ステップ6	(Optional) <b>copy running-config startup-config</b>  <b>Example:</b> switch(config)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

## モデム接続の設定

ユーザーはモデムをコンソールポートに接続できます。

### モデム接続のイネーブル化

モデムを使用する前に、ポートでモデム接続をイネーブルにする必要があります。

#### 始める前に

コンソールポートにログインします。

#### 手順の概要

1. **configure terminal**
2. **line console**
3. **modem in**
4. **exit**
5. (任意) **show line**
6. (任意) **copy running-config startup-config**

## ■ デフォルトの初期化ストリングのダウンロード

### 手順の詳細

#### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<b>configure terminal</b>  例： <pre>switch# configure terminal switch(config) #</pre>	グローバル構成モードを開始します。
ステップ2	<b>line console</b>	コンソールコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ3	<b>modem in</b>	ポートでモデム入力をイネーブルにします。
ステップ4	<b>exit</b>	コンソールコンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ5	(任意) <b>show line</b>  例： <pre>switch(config) # show line</pre>	コンソールの設定値を表示します。
ステップ6	(任意) <b>copy running-config startup-config</b>  例： <pre>switch(config) # copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

## デフォルトの初期化ストリングのダウンロード

Cisco NX-OS ソフトウェアによって、モデムと接続するためにダウンロードできるデフォルトの初期化ストリングが提供されます。デフォルトの初期化文字列は ATE0Q1&D2&C1S0=1\015 です。

#### 始める前に

コンソールポートにログインします。

### 手順の概要

1. **configure terminal**
2. **line console**
3. **modem init-string default**
4. **exit**
5. (任意) **show line**
6. (任意) **copy running-config startup-config**

## 手順の詳細

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<b>configure terminal</b>  例： <pre>switch# configure terminal switch(config) #</pre>	グローバル構成モードを開始します。
ステップ2	<b>line console</b>	
ステップ3	<b>modem init-string default</b>	デフォルトの初期化ストリングをモデムに書き込みます。
ステップ4	<b>exit</b>	コンソール コンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ5	(任意) <b>show line</b>  例： <pre>switch(config) # show line</pre>	コンソールの設定値を表示します。
ステップ6	(任意) <b>copy running-config startup-config</b>  例： <pre>switch(config) # copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

## ユーザ指定の初期化ストリングの設定およびダウンロード

デフォルトの初期化ストリングがお使いのモデムと互換性がない場合、独自の初期化ストリングを設定したり、ダウンロードしたりすることができます。

### 始める前に

コンソールポートにログインします。

### 手順の概要

1. **configure terminal**
2. **line console**
3. **modem set-string user-input string**
4. **modem init-string user-input**
5. **exit**
6. (任意) **show line**
7. (任意) **copy running-config startup-config**

## 電源がオンになっている Cisco NX-OS デバイスのモデムの初期化

### 手順の詳細

#### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b>  例： <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	<b>line console</b>	
ステップ 3	<b>modem set-string user-input string</b>	コンソールポート用のユーザー指定の初期化ストリングを設定します。この初期化ストリングは、最大100文字の長さの英数字で、大文字と小文字が区別され、特殊文字を含むことができます。  (注) ストリングを初期化する前に、まずユーザ入力のストリングを設定する必要があります。
ステップ 4	<b>modem init-string user-input</b>	ユーザー指定の初期化ストリングを、コンソールポートに接続されたモデムに書き込みます。
ステップ 5	<b>exit</b>	コンソールコンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ 6	(任意) <b>show line</b>  例： <pre>switch(config)# show line</pre>	コンソールの設定値を表示します。
ステップ 7	(任意) <b>copy running-config startup-config</b>  例： <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

## 電源がオンになっている Cisco NX-OS デバイスのモデムの初期化

電源がオンになっている物理デバイスにモデムを接続する場合、モデムを使用する前に初期化する必要があります。

#### 始める前に

Cisco NX-OS デバイスがブートシーケンスを完了し、システムイメージが実行されるまで待つてから、モデムをデバイスのコンソールポートに接続します。

ポートでモデム接続をイネーブルにします。

## 手順の概要

- modem connect line console}**

## 手順の詳細

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<b>modem connect line console}</b> <b>例 :</b> <pre>switch# modem connect line console</pre>	デバイスに接続されたモデムを初期化します。

## ターミナル セッションのクリア

Cisco NX-OS デバイスのターミナル セッションをクリアできます。

### SUMMARY STEPS

- (Optional) **show users**
- clear line name**

### DETAILED STEPS

#### Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ1	(Optional) <b>show users</b> <b>Example:</b> <pre>switch# show users</pre>	デバイスのユーザ セッションを表示します。
ステップ2	<b>clear line name</b> <b>Example:</b> <pre>switch# clear line pts/0</pre>	特定の回線のターミナル セッションをクリアします。回線名では大文字と小文字が区別されます。

## 端末およびセッション情報の表示

端末およびセッション情報を表示するには、次のいずれかの作業を行います。

## ■ ファイルシステムパラメータのデフォルト設定

コマンド	目的
<b>show terminal</b>	端末設定を表示します。
<b>show line</b>	コンソールポートの設定を表示します。
<b>show users</b>	仮想ターミナルセッションを表示します。
<b>show running-config [all]</b>	実行コンフィギュレーションのユーザアカウント設定を表示します。 <b>all</b> キーワードを指定すると、ユーザアカウントのデフォルト値が表示されます。

これらのコマンドの出力フィールドの詳細については、ご使用のデバイスの Cisco Nexus コマンドリファレンスガイドを参照してください。

## ファイルシステムパラメータのデフォルト設定

次の表に、ファイルシステムパラメータのデフォルト設定を示します。

**Table 1:** デフォルトのファイルシステム設定

パラメータ	デフォルト
デフォルトファイルシステム	bootflash:

## 端末設定とセッションの関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
Cisco NX-OS ライセンス設定	『Cisco NX-OS ライセンスガイド』
コマンドリファレンス	<i>Cisco Nexus 3548 スイッチ NX-OS 基本コマンドリファレンス</i>

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。